

# 第36回 (H28.夏) 佐鳴湖水質調査の結果



平成28年9月 佐鳴湖地域協議会

佐鳴湖では、住民の方々にご協力いただき、四季ごとに水のきれいさや生物の豊かさなどを調査しています。平成19年10月から始めたこの調査は、今回で通算36回目となりました。

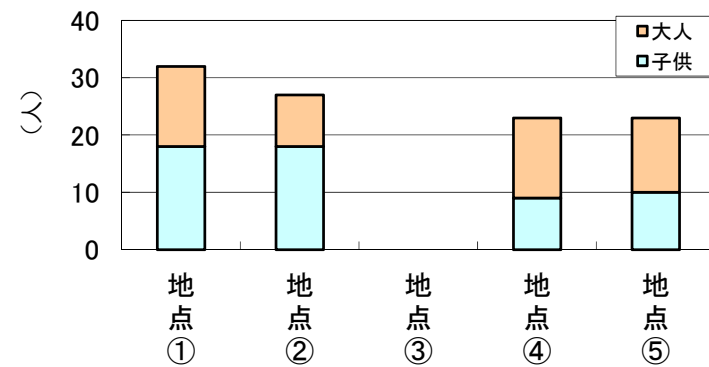
調査は大きく分けて「アンケート調査」と「簡易水質調査」の2つがあります。「アンケート調査」は、調査地点の水を見たり触れたりしてもらい、評価や感想を回答いただくものです。「簡易水質調査」は現地で簡単な器具を使い、水質をその場ですばやく判定するものです。それらの結果と、静岡県が詳しく測定した水質の調査結果をあわせて、「人と湖沼の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」などの視点から、佐鳴湖の環境を評価しています。

視点	調査の内容	
	アンケート調査	簡易水質調査
人と湖沼の豊かなふれあいの確保	ごみの量、水のおいしさ、湖底の様子、アオコ発生、水辺の音、水の透明さ、水とのふれあいやさ	透視度、透明度、700フィルの簡易確認
豊かな生態系の確保	水辺の植生、水生生物	溶存酸素(DO)、アモニア態窒素(NH <sub>4</sub> -N)
湖沼の基本的特徴の表現		pH、COD



調査日時：平成28年8月20日(土) 9時~12時  
 参加人数：56名 (大人28名、子供28名)  
 調査地点：4地点

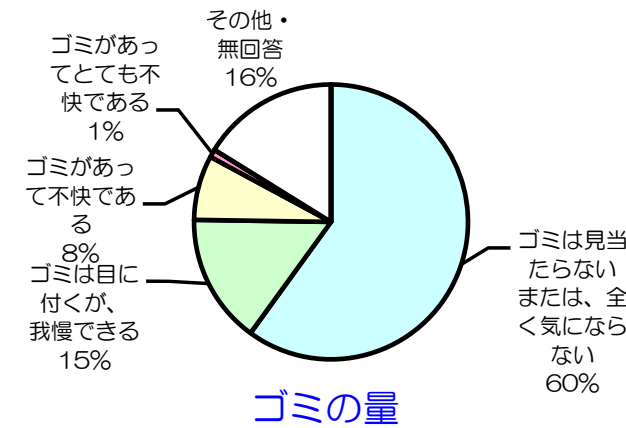
各調査地点の調査人数



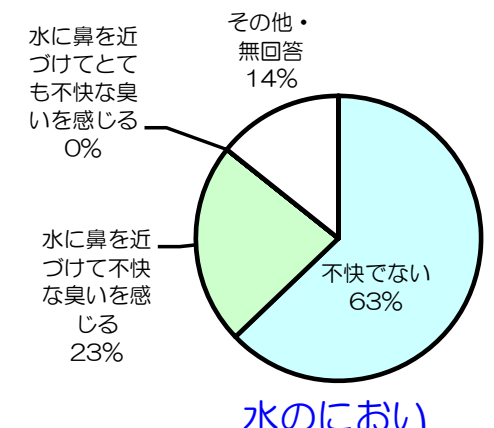
※地点③については、今年度は調査をしていません。



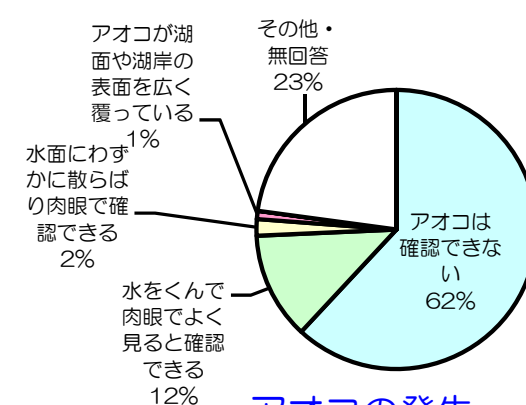
## アンケート調査の結果



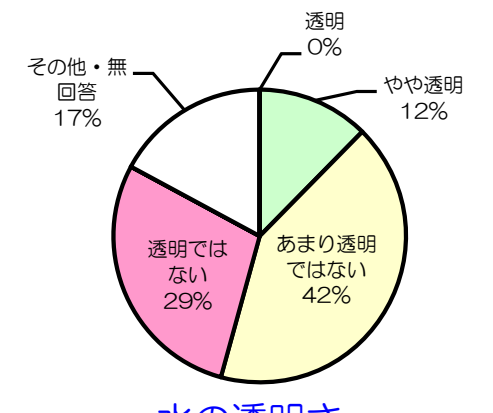
60%の人が「ゴミは見当たらない、または全く気にならない」と答えました。



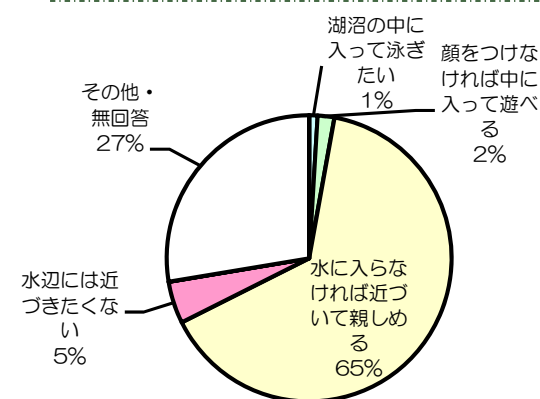
63%の人が水のおいしさについては「不快でない」と答えました。



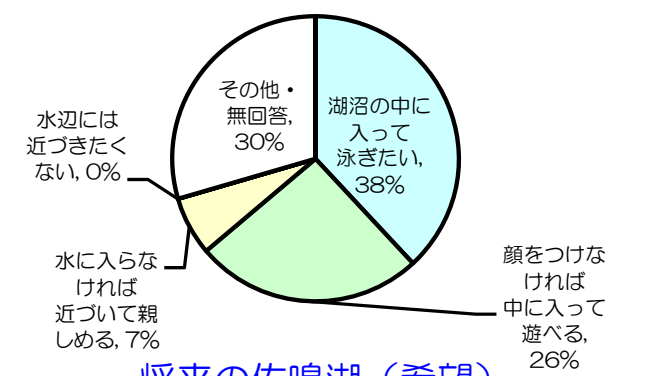
半数以上の方が「アオコは確認できない」と答えました。



71%の方が「透明ではない」または「あまり透明ではない」と答えました。

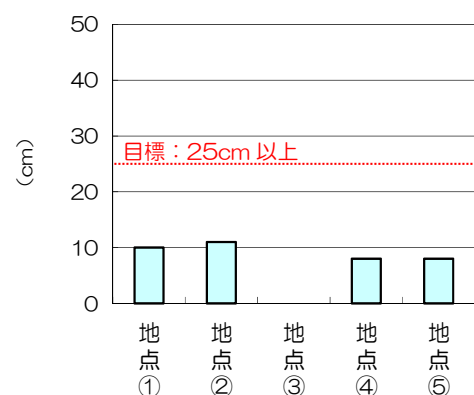


「水に入らなければ近づいて親しめる」という回答が65%で最も多くなりました。



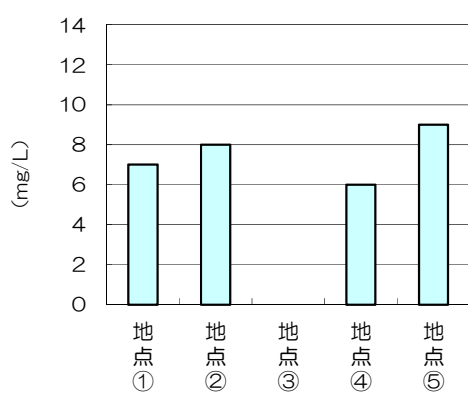
「泳ぎたい」と思うきれいな湖沼になってほしいという回答が最も多くなりました。

## 簡易水質調査の結果



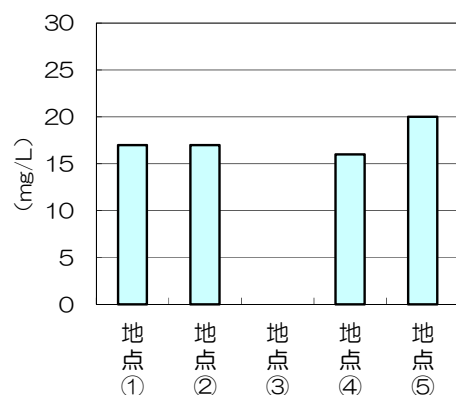
透視度

透視度（水の透明さの程度）は 8～11cm で、目標の 25cm には届きませんでした。



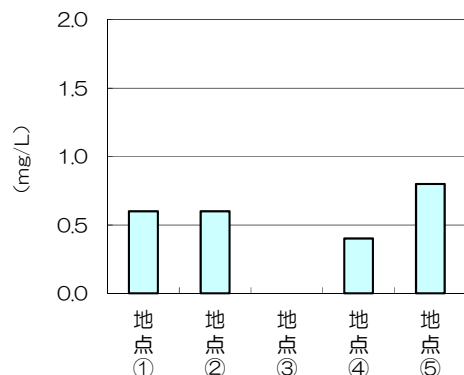
溶存酸素 (DO)

生物の生息に必要な、水に溶けている酸素の量 (DO) は、簡易測定で 6～9mg/L でした。



化学的酸素要求量 (COD)

有機物による水の汚れの程度を表す COD は、簡易測定で 16～20mg/L でした。



アンモニア態窒素 (NH<sub>4</sub>-N)

生物の死がいなどが分解されてできるアンモニア態窒素は、簡易測定で 0.4～0.8mg/L でした。



地点① 地点② 地点④ 地点⑤

クロロフィルの簡易確認

注射筒とろ紙を使って、200mLの水をろ過し、ろ紙の色を色見本と見比べました。いずれの地点もやや茶色がかった緑色になりました。



## 河川管理者（静岡県）による測定結果

測定項目	SS (mg/L)	濁度 (度)	クロロフィルa (μg/L)	糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	溶存酸素 DO (mg/L)	化学的酸素要求量 COD (mg/L)	アンモニア態窒素 NH <sub>4</sub> -N (mg/L)
調査地点①	41	48.6	78	90	4.4	9.8	0.32
調査地点②	19	40.3	110	110	8.7	8.8	0.10
調査地点③	-	-	-	-	-	-	-
調査地点④	39	48.6	72	1,000	5.2	9.1	0.34
調査地点⑤	44	54.6	85	900	7.3	9.6	0.19

溶存酸素 (DO)、アンモニア態窒素 (NH<sub>4</sub>-N) はおもに底のほうにすむ生物がすみやすい環境であるかを調べるため、底層の水を採取して調べています。

## 生物調査の結果

### 水生生物の採取

ペットボトルで作ったしかけやタモ網を使用して、水辺にすむ生物の調査を行いました。調査を行ったのは地点②⑤の2地点です。

甲殻類はテナガエビ、ヌマエビ、モクズガニ、クロベンケイガニがとれました。魚類はウロハゼとシマイサキ（稚魚）で、合計6種類を確認しました。

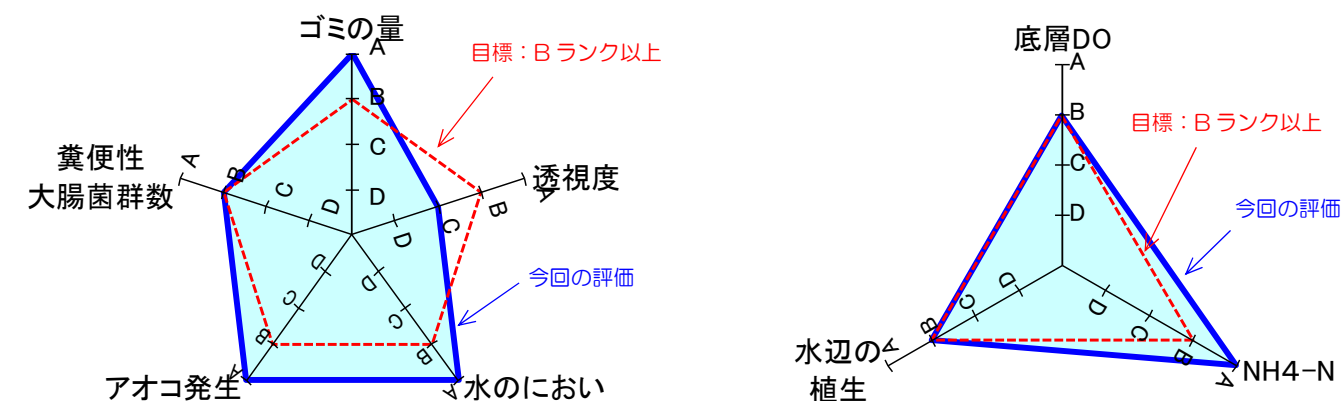
例年と比較すると、今回はペットボトルのしかけにウロハゼが多く入りました。



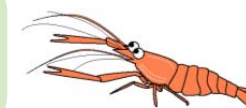
## 湖沼における新しい水質管理指標（案）による評価

みなさんの調査の結果と河川管理者（静岡県）による測定結果を、平成 22 年度に国土交通省より発表された評価方法で評価しました。下のグラフは、今回調査した4地点の評価を項目ごとに平均したものです。佐鳴湖の当面の目標は、すべての項目でBランク以上になることです。

「透視度」がCランクとなり目標は達成できませんでしたが、その他の項目については目標を達成しました。また、H28.春の調査に比べて「糞便性大腸菌群数」と「底層DO」の評価がAランクからBランクに下がりましたが、「水辺の植生」がCランクからBランクに上がりました。



おわりに 今回は朝から非常に厳しい暑さとなり大変だったと思いますが、みなさん熱心に調査していただき、ありがとうございました。次回、秋の調査にもぜひご参加ください。お待ちしております！



この調査結果の詳細については、こちらまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：佐鳴湖地域協議会

（事務局）静岡県浜松土木事務所 企画検査課（053-458-7266）